



東京赤坂ロータリークラブ週報 Weekly Report

2015~2016年度クラブテーマ
会長 橋本 年男

東京赤坂ロータリークラブ

NO. 1344 / 2015. 11. 20

例会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目アネックス 3F

TeL 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

<http://www.akasakarotary.com/>

「輪になろう、つなげる想い、つながる奉仕」
Build friendship, Join a heart, Service together.

●本日の例会/ 2015年 11月 20日 第1373回

卓話 : 第3回クラブ協議会
テーマ「30周年記念について」

●前回報告／2015年 11月 13日 第1372回例会

卓話 : 「ロータリー財団を知ろう！」

第 2750 地区ロータリー
財団・副委員長
補助金委員会委員長
安保 満 氏



親睦活動委員会 : (藤井宏章会員)

本日は新会員歓迎会です。宜しくお願ひ申し上げます。

石井達会員 :

今月ノーザングアムRCの40周年記念式典があります。フラカッショニさんからご連絡いただき、出席して参ります。

11月13日(金) 11件 20,000円
累計 559,566円

多額の寄付を有難うございました。(敬称略)

橋本年男/安保さん今日の卓話宜しくお願ひいたします。お陰様で2013「奉仕のつどい」が10月3日無事終了事が出来ました。土屋東一/熊本さんニコニコご苦労さまです。小原健/火曜会でよいお話を聞けました。熊本さんニコニコご苦労様です。尾関武男/本日は安保委員長ようこそ。卓話よろしくお願ひします。高須康有/安保様、本日のロータリー財団の卓話お世話になります。西澤民夫/安保さんよろしくお願ひいたします。鈴木さん大歓迎です。コンシニ/1時間前に韓国のソウルから帰って来ました。次はまたみんなで行きたいです。藤井万博/秋らしくなってきましたね。熊本さんニコニコお疲れ様です。木下京子/本日の新入会員歓迎会を開いて頂きありがとうございます。皆様と交流をとても楽しみにしています。石井達/安保さまの卓話楽しみにしております。来週末、ノーザングアムの40周年記念イベントに参加いたします。熊本誠司/安保さん卓話ありがとうございます。今日で今週3回目ですね。ロータリー奉仕ご苦労様です。

出席報告 : 会員 47名 / 出席 29名 欠席 18名
ゲスト : 安保満(卓話)、鈴木康介 計2名 (敬称略)

RI 第 2750 地区 ガバナー 水野 功 氏

今年度から特別月間が大きく変わり、ロータリーの6つの重点分野が全て月間に加わったことは皆さんよくご存知のとおりです。11月は従来通り「ロータリー財団月間」です。2013-14年度から「未来の夢計画」が試験的プログラムの期間を終え、全面的に採用されました。プログラムと資金管理の改善、各種オンライン化/運営の簡素化が図られました。具体的にはロータリーの6つの重点分野に使途が限定される「グローバル補助金」(GG)という比較的大きなプロジェクトに使える補助金と「新地区補助金」(DG)という、クラブがそれぞれの身近な小さなニーズに答えられる補助金に変更されました。

導入後の地区的現状を見ますと、DGは使い勝手の良さから、申し込み開始から早い時点で資金を使い切る状況となっており、各クラブは前年度のうちから計画を立てる必要があります。今年度は地区内100クラブのうち48クラブがDGを申請し、1件あたりの金額も増加傾向にあります。一方でGGは、信頼できる相手クラブの選定や英語での申請が必要であり、今年度も現在でも資金に余裕があります。そのような状況下、広尾ロータリークラブ提唱の「ケニアでの井戸掘り」など大きなプロジェクトがGGの申請を認められるなど、徐々にチャレンジするクラブが増加しています。是非、多くのクラブでGGを使ったプロジェクトに挑戦して頂きたいと考えます。

「寄付は第2の奉仕」と指摘されたのは佐久間パストガバナーでした。財団への寄付が補助金として地区で、また海外で自分たちが参加できないプロジェクトでも寄付が有効に使われていることを実感することが重要だと考えます。ロータリー平和フェローシップや財団の奨学生、今年度は6名の優秀な方々がそれぞれの希望の大学院に派遣されました。ガバナーとしてその選考にも携わりましたが、残念ながら選に漏れた方も含め大変優れた方たちが応募されています。会員各位の寄付が未来への贈り物になっていることを理解して頂きたいと強く思います。地区ではこの3年間、寄付が着実に増加しています。今年度は残念ながら、現時点では少し動きが遅い状況にあるとお聞きしています。今年度の寄付(年次寄付)は3年後に使用出来ることになります。3年後に大きなプレゼントが残せますように、各クラブにおいて会員各位の貴重な寄付が有効に使われ、地域社会にまたグローバルに素晴らしい奉仕活動を生み出していることへの理解推進を特別月間に合わせて勧めて頂きますようお願い致します。

(11月ガバナー月信より)

●次回予告 / 2015年 11月 25日(水)第1374例会

東京麻布RC・東京赤坂RC合同例会

卓話 : 「ロータリーと私」

司 葉子氏 (東京恵比寿ロータリークラブ)

11/9 地区奉仕プログラム情報交換会報告



千代田グループ 東京赤坂ロータリークラブの橋本です。テーマ「奉仕のつどい」を映像をまじえて発表致します。

2015年10月3日（土曜日）に東京都立芝商業高等学校の校庭と体育館で開催いたしました。

開催に当たりましてはロータリー財団から地区補助金を活用させて頂きました。有難うございました。このプログラムに賛同頂きました、東京都教育委員会と港区から後援を頂き、開催当日は港区長の武井雅昭様にもご参加頂きました。当日の参加者は高校生・障害者・東京赤坂ロータリークラブを中心とするロータリアン・それとゲストの皆さんとの総勢305名の方々に参加頂きました。このプログラムの目的は二つあります。まず、青少年が障害者と交流する事により障害者に対し「やさしい心を育んで頂く事」と「障害者に対する意識を高めて頂く事」、そして「バリアフリーの重要性を感じてもらう事」です。このために当日は高校生の皆さんに、障害者が乗る車椅子を押して頂く体験をして頂きました、これは大きな交流に成ったと思っております。さらに障害者と高校生の皆さんに歌とダンスのパフォーマンスをして頂き元気を分かち合いました。二つ目は2020年開催の東京パラリンピックもあることから日本パラリンピアンズ協会副会長の根木慎二さんに講演「夢は叶う」をして頂き、車椅子バスケットの体験競技を高校生にして頂き障害者の方々の声援で大変盛り上がりました。ここでは障害を持つ方も元気に活動できる事が車椅子バスケットを通して証明され、まさに we are one! 我々は一つ! と言う事も確認しあいました。この日の「奉仕のつどい」は掲げた目標を達成できたとの思いを抱く事が出来ました。

これからも東京赤坂ロータリークラブは地域社会・国際社会へのプレゼントを目指して行動していきます。
これで、発表を終わりますご清聴有難うございました。

（橋本年男会長記）



11月火曜会

今回はロータリー財団奨学生の東美沙さんをゲストに迎えました。東さんは難民問題に関わるしごとに就くのを目標としてますが、緒方貞子さんも学んだ米国ジョージタウン大学留学を経て、現在はまわり道ながら都内の米国法律事務所に就職し、法律実務を経験しながら国連機関等への転身を狙っています。本日の火曜会では参加会員（全員男性）から難民問題は勿論のこと、談論風発で移民、亡命、はたまた同性パートナー、少子高齢化、眼力（めぢから）等々、話題があちこちに飛びました。大学のゼミの先生が東さんと同じことが判明した会員もいました。金山さんは初めての火曜会参加でした。

（石井 達記）

会員出席者：尾関、熊本、吉田、藤井（宏章）、井上、小林、高須、橋本、金山、村山、西澤、永、河邊、小原、石井（達） 計15名（順不同・敬称略）

